

【9月中旬刊行】

関連欄：評伝・大学教育・工学一般

工学界のレジェンド。半導体関連の特許保有件数は世界最多。
孤高の独創者は、どのように弟子たちを育てたか。

A5判 並製172頁 本体1,800円 鈴木 壯兵衛・相沢 幸悦著 ISBN978-4-88065-570-3 C0050



西澤潤一 人間道場

研究を經營するとは、 ということか

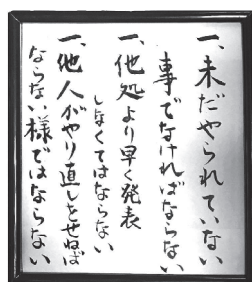
未だやられていない事でなければならない。
天狗になるな、自分で自分を律せよ。
きびしさはやさしさに裏付けされ、やさしさは
ただしさに裏付けされていなければならない。

半導体電子工学分野で独自の半導体デバイス、pinダイ
オード、静電誘導トランジスタ、pnipトランジスタなどを
発明し、IT社会に欠かせない基礎技術を開発。先進的、
かつ独創の熱意は国内学会の反発も招いたが、業績は
むしろ海外で評価された。

「独創研究をする人間は、わが国の国民を幸せにするとい
う使命がある」「日本全体が食うためには電子工業をやら
なくてはならない」との信念のもと、産学連携の先駆となっ
た異端の科学者は、いかに弟子たちを育てあげたのか。
本書は「西澤道場」の直弟子の著者が、当時の研究指導方
法を振り返り、補論ではわが国が技術立国として復権する
ための大学教育に欠かせない条件と道筋を提言する。

西澤潤一(にしざわ・じゅんいち)

1926年～2018年。17代東北大学総長、半導体デバイス、
光通信の開発等で多大な業績を残す。2002年、勲一等瑞
宝章受勲。業績を記念し、米国電子電気学会(IEEE) Jun-
ichi Nishizawaメダルが創設された。



第1部・本論 西澤潤一の研究と指導

第1章 「虎の穴」西澤道場

第2章 道場における実践

第3章 道場の研究経営戦略

第4章 道場の理念

第5章 研究と指導における愛

第2部・補論 日本経済と大学の教育・研究

第1章 日本経済の再興に向けて

第2章 経済の生命線—大学の基礎研究

第3章 経済学大学院DC 修了生の体験談

【著者】鈴木壯兵衛(すずき・そうべえ)

東北大学大学院工学研究科博士課程修了(西澤研究室)、工学博
士・弁理士。「そうべえ国際特許事務所」所長、IEEE Life Member。

【著者】相沢幸悦(あいざわ・こうえつ)

経済学博士。(公財)日本証券経済研究所客員研究員、埼玉大学
経済学部教授等歴任、同大名誉教授。著書多数。



水曜社 東京都新宿区新宿1-31-7
☎03-3351-8768

返品入帖可 取次:ト・日・RBN・JRC・中・教・鎌谷・全官報

Fax03-5362-7279

☐FAX中止

注文扱い・取次搬入9月13日予定

書店印 【注文扱返条付】	水曜社		
	注文冊数	西澤潤一・人間道場	
		ISBN978-4-88065-570-3 C0050 本体1,800円	
御担当	様	冊	

*本書は注文扱い返品条件付き新刊です、新刊委託配本はありません。弊社の出版物はいつでも返品入帳いたします。